PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference R654-PCT	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below	
International application No. PCT/JP2005/003334	International filing date (day/month/year) 28 February 2005 (28.02.2005)	Priority date (day/month/year) 02 March 2004 (02.03.2004)	
International Patent Classification (8th See relevant information in Form P	edition unless older edition indicated) CT/ISA/237		
Applicant Asahi Kasei Fibers Corporation			

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).					
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.					
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.					
3.	This report contains indications relating to the following items:					
	Box No. I	Basis of the report				
	Box No. II	Priority				
	Box No. III	Non-establishment of opi applicability	nion with regard to novelty, inventive step and industrial			
	Box No. IV	Lack of unity of invention	n			
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement				
	Box No. VI	Certain documents cited				
	Box No. VII	Certain defects in the international application				
	Box No. VIII	Certain observations on t	he international application			
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).					
			Date of issuance of this report 05 September 2006 (05.09.2006)			
	The International Burn		Authorized officer			
	34, chemin des Co 1211 Geneva 20, S		Yoshiko Kuwahara			

e-mail: pt07@wipo.int

Facsimile No. +41 22 338 82 70 Form PCT/IB/373 (January 2004)

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

背木 篤 機 REC'D 1 6 JUN 2005 POT WIPO

PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

あて名

〒105-8423

日本国東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門3 7森ビル冑和特許法律事務所

発送日 (日.月.年)

出願人又は代理人 の音類記号

R654-PCT

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号

PCT/JP2005/003334

国際出願日

(日.月.年) 28.02.2005

優先日 (日.月.年)

02.03.2004

国際特許分類 (IPC) Int.Cl. D01F6/94

出願人 (氏名又は名称) 旭化成せんい株式会社

Г

1. この見解書は次の内容を含む。

V 第 I 欄 見解の基礎

 Γ 第Ⅱ欄 優先権

第皿棚 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

第IV欄 発明の単一性の欠如 Г

第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明

第VI欄 ある種の引用文献

第VII欄 国際出願の不備

第四個 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解むを国際予備審査機関の見解街とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解むは国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正費とともに、答弁費を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

30.05.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915

東京都千代田区設が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

9047 4 S

菊地 則義

電話番号 03-3581-1101 内線 3474

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第1欄 見解の基礎

1. この見解掛は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。

2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。

配列表に関連するテーブル

「コンピュータ読み取り可能な形式

c. 提出時期 出願時の国際出願に含まれる

この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された

出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された

3. 「 さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

4. '補足意見:

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2005/003334

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則 43 の 2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明							
	1. 見解						
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲		_ 有 _ 無			
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-7	_ 有			
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-7	. 有 . 無			

2. 文献及び説明

文献1: JP 2002-363825 A (東レ・デュポン株式会社)

文献 2: JP 60-239519 A (旭化成工業株式会社) 文献 3: JP 6-123067 A (日清製粉株式会社)

文献4: JP 10-259577 A (竹本油脂株式会社)

請求の範囲1-7

国際調査報告で引用された文献1-4には、ポリウレタン弾性繊維及びその製造方法に関し、特定の平均粒径、特定の屈折率を有した無機化合物粒子を含有した結果として、繊維表面に特定の凸部を有したポリウレタン弾性繊維が得られることについて、記載も示唆もされていない。